

【2021年度】事業所向けサービス自己評価表（放課後等デイサービス）

調査実施年月 2021年12月 事業所 ハッピーライフみなど

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		運動する場所、座って遊ぶ場所など分けて活動しています。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○		その日の利用人数に応じて、職員の配置をしています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		段差をなくすなど、バリアフリー化は適切に出来ています。	物の配置など、職員で話し合いをし、安全確保に努めています。
	4 清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		おやつ後などは、コードレスの掃除機を使ってお菓子の食べかすを除去しています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		朝礼や終礼にて情報共有をしています。	しっかりと時間を取り、改善点なども話し合えるようにします。
	6 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		アンケート調査を実施し、集計後、スタッフ間で話し合いをし、業務改善に繋げています。	
	7 支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		アンケート調査の結果をホームページにて公開しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者による外部評価は行っていません。社内での事業所評価を行っています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		研修に参加し、研修報告書を提出することでその他スタッフにも共有をしています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○		定期的にモニタリング会議を行い、支援計画書を作成しています。	モニタリング会議の際により多くの意見が出るように、普段の活動から積極的に児童と関わり、その児童のことをスタッフ全員で考えていきたいです。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		社内共通のアセスメントシートを活用しています。	
	12 個別支援計画には具体的な支援内容が設定され、また計画に沿った支援が行われているか	○		定期的なモニタリングの機会に話し合いを行い、支援計画書を作成し、計画に沿った支援を行っています。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		スタッフのいいなと思ったものを共有し、実現できるように努めています。	スタッフ全員に立案してもらうために、行事計画案を記入するノートを作成しました。
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		季節に応じた催しを考え、昨年とは違った内容を提供するようにしています。	
	15 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		メリハリのある活動にするように、スタッフ同士意見を出し合い、支援をしていきます。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、個別支援計画を作成しているか	○		個別の活動、集団活動の両方を組み合わせ、支援計画書を作成しています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		打ち合わせを必ず行っています。前日の児童の共有を行い、当日の支援内容に反映させています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		次の日の朝礼で時間を決めて、振り返りを行なっています。	
	19 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		活動終了後、支援内容を記録しています。	
関係機関や保護者との連携	20 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		月1から2回行っています。	
	21 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○		ガイドラインの記載事項を考慮しながら、支援を行っています。	全従業員にガイドラインを周知し、活動に組み合わせて、支援を行なっています。
	22 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		主に児童発達支援管理責任者が相談支援事業所と情報共有をしています。	
	23 【児発】 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				
	24 【児発】 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	25	○		学校との連絡調整は、しっかりと行っています。また、始業式の日時や懇談期間なども学校に連絡を取っています。	学校での様子などの情報共有をしっかりと行いたいです。
	26		○	必要に応じて、相談支援員と連携しています。	
	27		○		まだ移行する児童が居ない為、情報の提供はしていません。依頼があった場合には、すぐに対応できるようにあらかじめ準備をします。
	28		○		ここ最近は受けれていません。
	29		○		コロナ禍ということもあり、交流が来ていません。感染対策をしたうえで、交流する機会を増やしていきたいです。
	30				
	31		○		コロナウイルスの影響で、協議会が中止になっています。協議会があった際には、参加したいと思っています。
保護者への説明責任等	32	○		その日の事業所での様子や家での様子などの情報共有をしています。スタッフ間でも情報共有し、記録に記載もしています。	
	33		○		ペアレントトレーニングは、実施してません。
	34	○			初回見学時や契約時に、丁寧に説明をするように心掛けています。
	35	○			送迎時や定期的な面談の機会に支援を行なっています。その内容については、記録に記入し、スタッフ間で周知しています。
	36		○		コロナ禍ということもあり、開催できていません。感染対策をしたうえで、開催をしたいと思っています。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	37	○			子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか
	38	○			定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか
	39	○			個人情報に十分注意しているか
	40	○			障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか
	41		○		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか
非常時等の対応	42		○		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか
	43	○			非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか
	44	○			虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか
	45	○			事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか
	46	○			食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか
	47	○			日々の活動で危機感、危険予測の意識を高める為に、そのような出来事があればその都度ヒヤリハット報告書を作成し共有しています。
	48	○			どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、個別支援計画に記載しているか